

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		公害対策事業費 [地下水の水質調査事務]									
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 8	公害対策事業費	事業番号	1			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	環境 課 環境公害 係					課長名	下村 和郎				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 8				
【施策名】 環境の保全						総合計画書(ページ)	99				
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市民の敷地内にある地下水(井戸水)。			→ 水質調査。							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	水質に係る環境基準を達成し、井戸の安全な使用を確保する。			→ 環境基準を達成した井戸の数。							
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	地下水(井戸水)の水質調査。			→ 井戸の調査数。							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	<input type="checkbox"/>	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	回	1	1	1	/				
	成果指標	②の数値	か所	6	6	6	/				
	目 標	②の目標値	か所	/		6	6	6	6	6	
		目標値設定の考え方 環境基準を達成する井戸の数									
活動指標	③の数値	か所	6	6	6	/					
3 経費	事業費(実績)		円	50,544	50,544	51,480	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	50,544	50,544	51,480					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.0	0.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	82,530	82,440	83,100					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	133,074	132,984	134,580						
4 環境変化等	(1) 開始年度	52 年度									
	(2) 環境の変化	・事業開始時期は、昭和52年まで確認できる。 市内各地区の地下水(井戸)の水質を定点調査することにより、土中の状況変化を把握する。 ・近年、土壌汚染について社会の関心が高まっている。目視等によって確認できない地下の状況を把握することが重要である。									

事業名称	公害対策事業費 [地下水の水質調査事務]			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 下村 和郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：⑦、⑧（市民が保有している井戸水の水質を測定する。）
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
特になし。		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記）	
	今後も新たな地点で調査できないか検討していきたい。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	特になし。	
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）		
現在調査を行っている地域以外に調査可能な井戸を所有している市民の把握に努める。		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
施策名： 環境の保全		
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	【取組内容】 環境基準を達成する地下水（井戸水）を増やし、市内地下水の安全を確保するとともに、土壌汚染の早期発見に努める。	
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		